

予防接種を受けましょう!

お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力(免疫)は、自然に失われていきます。そのため、赤ちゃん自身で免疫をつくって感染症を予防することが大切です。その助けとなるのが予防接種です。感染症の原因となるウイルスや細菌等の力を弱めてつくった予防接種液(ワクチン)を接種して、その病気に対する抵抗力(免疫)をつくります。

予防接種で免疫をつけ、感染症にかからないように予防しましょう。各予防接種の対象年齢、回数及び接種間隔は次のとおりです。

予防接種スケジュール

※実際の接種スケジュールは、お子様の体調・生活環境、基礎疾患の有無等を考慮して、主治医とよくご相談ください。

ワクチン名	接種回数	0歳									1歳		2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	
			2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	9 か 月			3 か 月	6 か 月							6 か 月						
ロタウイルス	1価ワクチン (ロタリックス)	2回		①	②																				
	5価ワクチン (ロタテック)	3回		①	②	③																			
B型肝炎	3回		①	②			③																		
ヒブ	4回		①	②	③					④															
小児用肺炎球菌	4回		①	②	③					④															
5種混合 (DPT-IPV-Hib)	4回		①	②	③					④															
4種混合 (DPT-IPV)	4回		①	②	③					④															
2種混合 (DT)	1回																						①		
BCG(結核)	1回				①																				
麻しん風しん混合	2回									①								②							
水痘	2回									①		②													
日本脳炎	4回													①	②	③					④				
[任意]おたふくかぜ	2回									①								②							

ロタウイルスワクチンは2種類あります。主治医とご相談してどちらかを選択し、同じワクチンを必要回数接種してください。
※両ワクチンとも、安全性の観点から、初回の標準的接種期間は生後2月から出生14週6日後(生後15週未満)であり、その期間までに接種することが推奨されています。

ヒブ、小児用肺炎球菌は初回接種開始年齢によって接種回数が異なります。

5種混合は「4種混合」と「ヒブ」を合わせたものです。したがって、5種混合を接種する場合、4種混合とヒブを接種する必要はありません。

小学校就学前の1年間に接種。
任意の予防接種であり、市独自制度で一部助成を行っています。
(予診票は委託医療機関に置いてあります。)

- ※ [] の部分が法定対象年齢(任意の場合は、標準的接種年齢)です。各予防接種とも、接種対象年齢外や間隔外の接種は任意接種となり、全額自己負担になります。
- ※ 鹿児島県内(鹿児島市を除く)は、相互乗り入れの医療機関であれば、鹿児島市の予診票を使って接種できます。
- ※ 鹿児島市民の方で、里帰り先での上記予防接種を希望する場合には、事前に「予防接種実施依頼書」の交付申請をすることで接種できます。ただし、償還払い申請を要します。
- ※ 長期にわたり療養を必要とする疾病(白血病、がん等)にかかったこと等により、やむを得ず定期予防接種が受けられなかった方については、接種対象年齢を超えて接種できる場合があります。
- ※ 予防接種により障害が残るなどの健康被害が生じた場合、その健康被害が予防接種によるものと認められた場合には、医療費などの給付を受けることができます。
- ※ 詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 鹿児島市保健部 感染症対策課
TEL:099-803-7023 FAX:099-803-7026 8:30~17:15(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)